

く じちゅうざ え もんみなもとの はるうじ はか 久慈忠左衛門源治氏の墓

- ◇ 指定日 平成6年12月19日
- ◇ 所在地 摂待
- ◇ 所有者 個人

『南部藩参考諸家系図』によると、久慈氏は甲斐^{かいのくに}国出身で南部^{みつゆき}光行より九戸郡久慈村を拝領し久慈氏を名のりました。

はるうじ 治^{はるみつ}氏の祖父治光が閉伊郡沼袋・尼額^{あまひたい}・摂待の3ヶ村を授かりますが、天正19年(1591年)の「九戸の乱」で謀略によって浪居の身となります。

その後父治吉^{はるよし}の代にえん罪がはれて帰参が認められ、旧領のうち摂待村百石の知行が認められました。

治氏らは摂待氏に改名して、この地に居住し、良く領民を治めたと伝えられています。

墓碑には、天和2年(1682年)正月1日に81歳で亡くなったとあり、「覺翁浄正居士」の戒名が刻まれています。



墓碑拓本